

## 最もやわこしい「GDPと経済成長」の話 前編

本題とは違うのですが、まず、私の考える経済成長の答えを記述します。経済成長のエンジンは企業です。経済成長をするためには企業が活動しやすい環境を作る必要があります。その後に、枠にはまらず、フリーハンドで税金を安くして自由に私達が活動できるようにすれば良いです。…という話は一旦おいておいて、こういう話以上に「では、この時に目指す経済成長とは何なのか？」を考える時期にきています。私達は「経済成長についての価値観をもっと自由にいろいろ持った方が良い。」です。まず、GDP(※国内総生産)とはこういう事です。家で子育てをしています。お母さんが外へ出てパートで5万円稼ぎました。そしてベビーシッターに5万円払いました。GDPから見たらプラス10万円。ところが家庭の収入は増えていません。お母さんが本当は子育てしたいのに仕方なく外で働いたのであれば、家庭にとつてはマイナス。子育ての気分転換のため、たまには外へ…という事だったのであればプラス。GDPから見てプラス10万円というのは、当人にとつてのプラスマイナスは一切関係ありません。その上で、経済成長だけ、GDPを上げるだけであれば、実はもの凄く簡単な事です。GDPが対象になるものを売買の対象とみなせば良いのです。本当になりふり構わないならGDPを増やす方法は幾らでもあります。例えば、無料のものをどんどん有料にすれば良いのです。(例：選挙権1回1万円支払い必須等)でも、それは私達の生活にプラスになるとは限りません。経済成長は飽くまで結果であつて目的にしてはいけません。経済成長する事自体が目的であれば、本当になりふり構わなくなります。でも、今の日本社会はそういう風潮があるのではないか。と疑っています。：紙面の都合もありますので、理由・詳細等は、vol.62で改めて述べます。試行錯誤の毎日です。今回、机上の話になりがちなテーマである事は重々承知しているのですが、やはり言いたい事はひとつです。皆さんで「私たちの望む経済成長・社会」を思い描き話し合ってください。個々人の想いが集まれば、良い社会が形成されます。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成28年5月20日

増田好秀